

対処療法的な発想によるスキンケアの問題点

スキンケア製品を購入する際、すぐに成果を求める短期的な発想をする人が多い。このため、自分のなりたい肌の根本原因にアプローチする良い製品とわかっていても即効性のある製品を選びがちです。その結果、本当に自分が望む、なりたい肌にはなかなか到達しません。自分の理想とする製品を手に入れられないことが多いのです。

ここにスキンケア大国日本の消費者の短期的なニーズに応じたビジネスモデルや、ポピュリズム的な商品を提供する企業の利益優先のビジネスが見られます。企業は、消費者のなりたい肌になれない悩みの根本原因に対処する商品を提供することよりも、即効性のある製品を提供する利益を優先したビジネスモデルを取っています。

●なぜ人は対処療法的な発想によるスキンケアを求めるのか

- 根本的な解決や再発防止になると誤解: 即効性のある製品を提供する対処療法的な問題解決は大事ですが、一時的な解決策に過ぎず、最終的には根本的な解決が必要です。それを理解せず、一時的な解決が根本的な解決や再発防止になると誤解しているため、消費者はなりたい肌になれない悩みを繰り返すのです。一時的な対策と根本的な解決の違いを理解していないのです。
- 何をしなければならないのかを理解していない: 消費者はなりたい肌になれない悩みを繰り返していますが、本当のニーズを理解していないため、一時的な対処療法的なスキンケアを求めがちです。悩みを繰り返さないためには、何が求められているのか、何をしなければならないのかを理解していないから、自分勝手な考え方から対処療法的な「即効性のある」スキンケアを選んでしまうのです。
- 対処療法的な解決がどのような結果を招くかを十分に理解していない: 対処療法的な解決は問題を一時的に解決しますが、根本的な原因を放置するため、状況がさらに悪化することを理解していないのです。
- なりたい肌になれない悩みを繰り返している意味を理解していない: その場限りの製品や方法を試し、即効的な効果で満足しています。その時々々の流行や広告に影響されて商品を選び、「なりたい肌になれない悩みを繰り返さない」ための一貫したスキンケアの方針がありません。

「多くの消費者は対処療法的な発想によるスキンケアを求める」、これを変えるためには、対処療法的な発想によるスキンケアは、一時的な効果を重視し、根本的な解決を後回しにするスキンケアであるということを知ることです。